

# 地理院地図 Globe

## 操作マニュアル

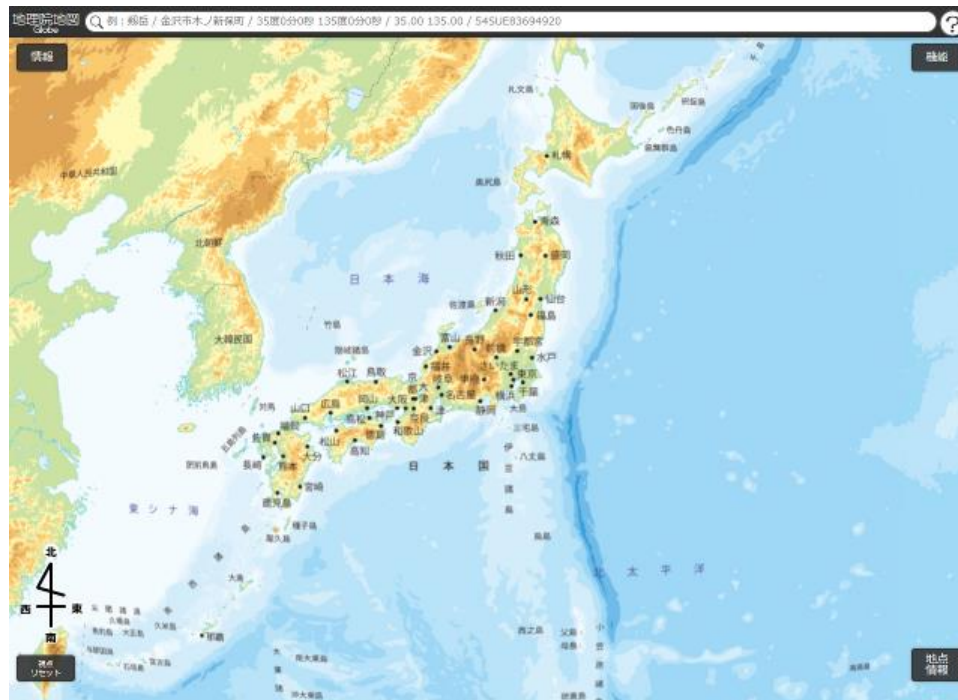
令和 2 年 3 月 5 日

## 目次

1. 地理院地図 Globe とは .....	3
2. 基本操作.....	4
2.1. 操作概要.....	4
2.2. 地理院地図 Globe へのアクセス方法.....	4
2.3. 基本画面.....	5
2.4. 地図の操作 .....	6
2.4.1. 地図のスクロール .....	6
2.4.2. 地図のズームイン・ズームアウト.....	6
2.5. 地図の立体表示 .....	7
2.6. 地図の回転 .....	9
2.7. 地点情報の表示 .....	9
2.8. 検索.....	10
3. 「情報」ボタン .....	11
3.1. 情報リスト .....	11
3.2. 選択中の情報 .....	12
4. 「機能」ボタン .....	14
4.1. KML・GeoJSON ファイルの読み込み .....	15
4.2. 高さ倍率の変更.....	17
4.3. URL リンクの取得 .....	18
4.4. 外部タイルの読み込み.....	19
4.5. 現在位置を表示 .....	21
4.6. 地理院地図に移動 .....	22
4.7. 地理院地図 3D に移動.....	23
5. その他 .....	25
5.1. 自分で作る色別標高図.....	25

## 1. 地理院地図 Globe とは

地理院地図 Globe は、国土地理院が提供する様々な地図を、特別なプラグイン等を導入せずにウェブブラウザ上でシームレスに立体表示することが可能なウェブサイトです。



地理院地図 Globe イメージ

## 2. 基本操作

### 2.1. 操作概要

地理院地図 Globe では、以下の操作が可能です。次章以降で順次、詳細な手順を説明します。

カテゴリー	操作	詳細
基本操作	地図上でズームイン、ズームアウト等の基本的な操作を行います。	<a href="#">2.3.</a>
立体表示	地図を立体表示させます。	<a href="#">2.5.</a>
地点情報の表示	地図上で指定した位置の情報を表示します。 (住所、経緯度、UTM ポイント、標高)	<a href="#">2.7.</a>
検索	検索した場所へ移動します。	<a href="#">2.8.</a>
表示する地図の変更	表示する地図を変更します。	<a href="#">3.</a>
ファイル読み込み	KML または GeoJSON ファイルを読み込み、地図と重ね合わせて表示します。	<a href="#">4.1.</a>
サイトの移動	地理院地図、地理院地図 3D に移動します。	<a href="#">4.5.</a> と <a href="#">4.6.</a>

### 2.2. 地理院地図 Globe へのアクセス方法

地理院地図 Globe は、ウェブブラウザを用いて利用します。

地理院地図 Globe にアクセスするための URL は、以下のとおりです。

[https://maps.gsi.go.jp/globe/index\\_globe.html](https://maps.gsi.go.jp/globe/index_globe.html)

(推奨環境)

#### ■ Windows

OS : Windows 7 以降

ウェブブラウザ : Google Chrome, Mozilla Firefox, Microsoft Edge,  
Microsoft Internet Explorer 11(IE11)

#### ■ Macintosh

OS : Mac OS X

ウェブブラウザ : Safari

## 2.3. 基本画面



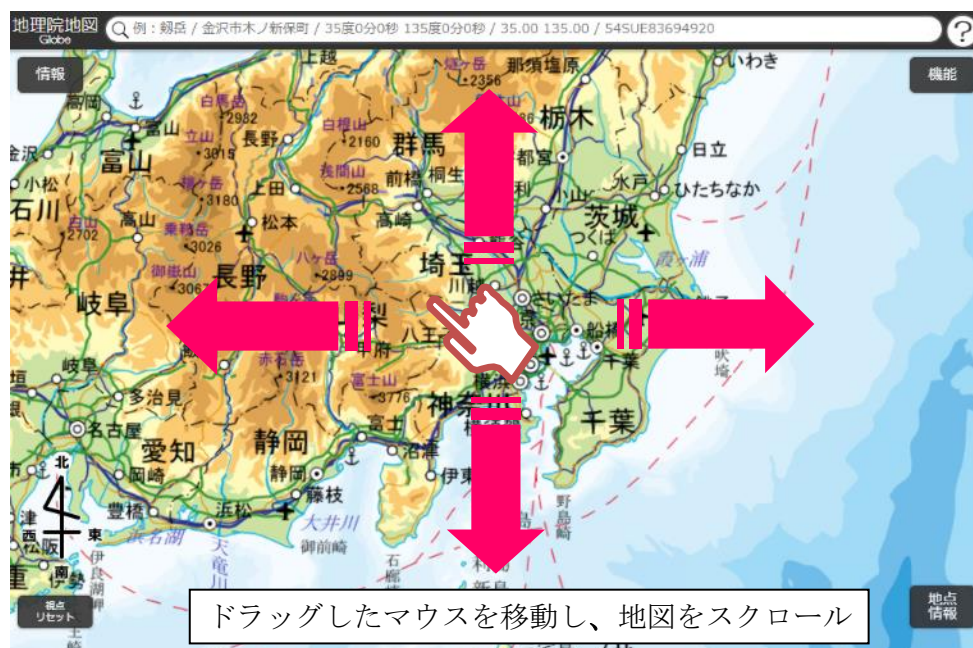
地理院地図 Globe 基本画面

No.	名称	簡易機能解説	詳細
①	検索バー	地名・住所・経緯度等による検索ができます。	<a href="#">2.8.</a>
②	ヘルプボタン	ヘルプウィンドウが開きます。	-
③	「情報」ボタン	地図上に表示可能な情報を選択します。	<a href="#">3.</a>
④	「機能」ボタン	表示設定や付属機能进行操作します。	<a href="#">4.</a>
⑤	視点リセット	縮尺範囲を基本画面（日本全体）の表示に戻します。	-
⑥	「地点情報」ボタン	クリックした地点の情報を表示します。 (右クリックも同様)	<a href="#">2.7</a>

## 2.4. 地図の操作

### 2.4.1. 地図のスクロール

地図のスクロールは、地図画面上で、マウスをクリックしたまま地図をドラッグすることで行えます。

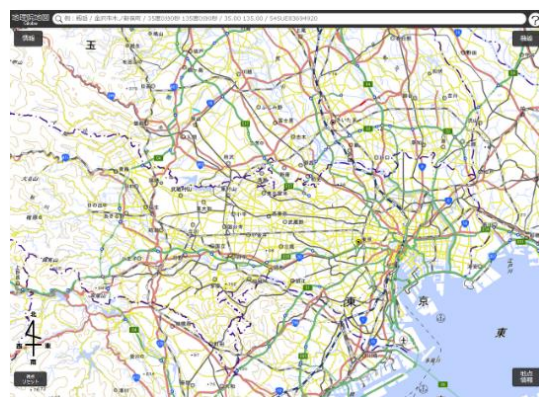


### 2.4.2. 地図のズームイン・ズームアウト

地図画面上で、マウスホイールを操作することにより、地図のズームイン・ズームアウトが可能です。ズームレベルが大きいほどズームインした状態（大縮尺）となります。



ズームイン前

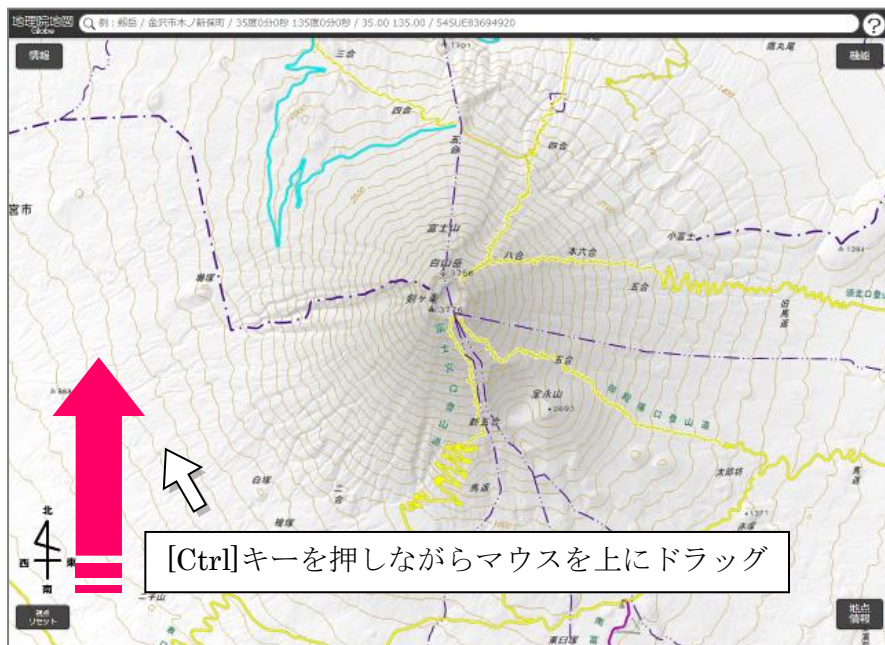


ズームイン後



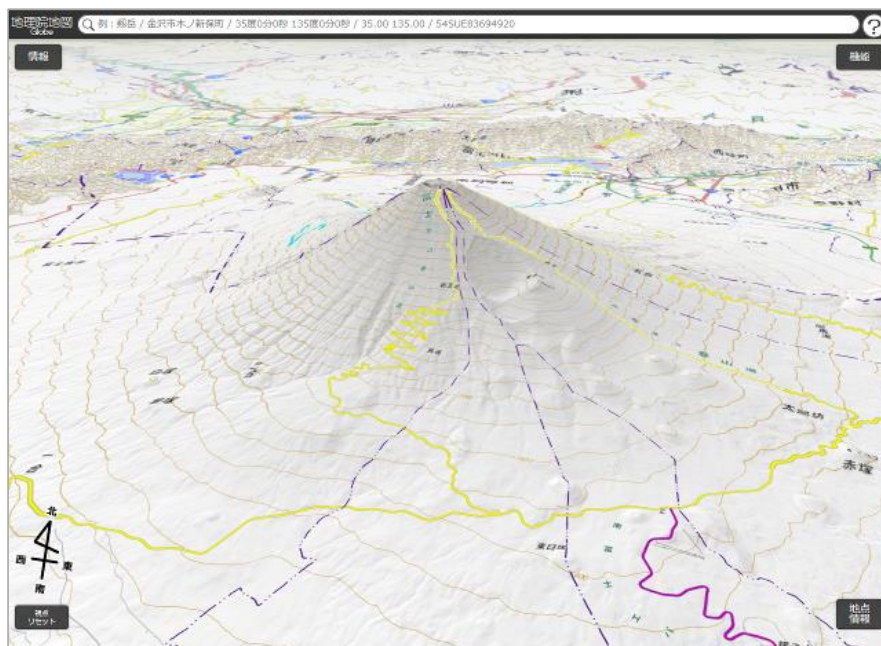
## 2.5. 地図の立体表示

1. キーボードの[Ctrl]ボタンを押しつつ、マウスの左ボタンを押しながらマウスを上方向に移動させます。

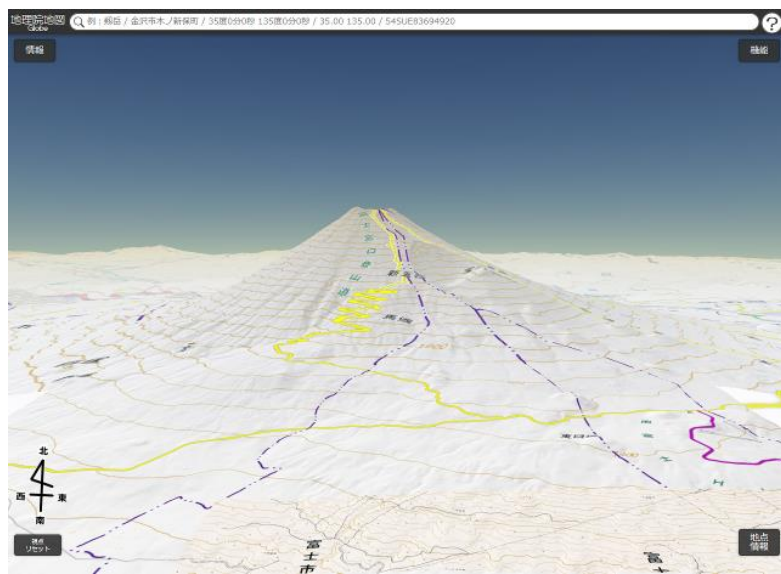


立体表示する前の地図

2. マウスの上方向への移動距離によって、地図の傾きが変わります。傾きを戻したい場合は、マウスを下方向に移動させます。



立体表示後の地図



立体表示後の地図（傾きを強めにし地平線を表示）

※ どこを表示しているのか、どの程度の傾きで表示しているのかがわからなくなった場合は、画面左下の視点リセットボタンにより初期位置に戻り、初めから操作し直してください。

3. キーボードの[Ctrl]キーとマウスの左ボタンを離し、立体表示した状態でマウスホイールをスクロールさせると、2D の地図と同様にズームイン／ズームアウトが可能です。

立体表示した状態で、表示するレイヤを変更することも可能です。

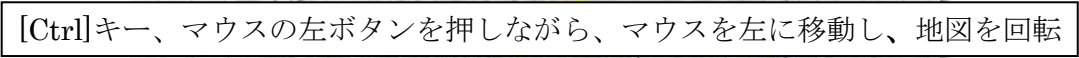


立体表示のまま、表示地図を変更



## 2.6. 地図の回転

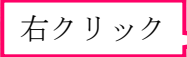
参照したい地図が立体表示された状態で[Ctrl]キーを押し、マウスの左ボタンを押しながらマウスを上下左右に動かすことで、対象となる地形を様々な角度から参照することができます。



## 立体地図の回転

## 2.7. 地点情報の表示

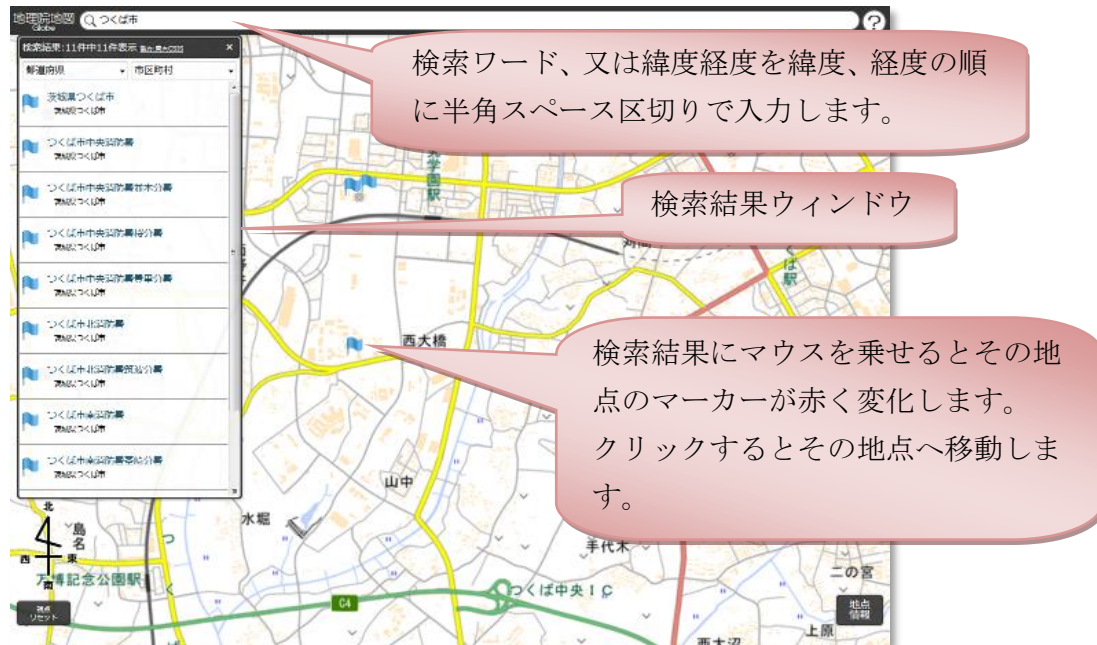
地図上で右クリックすると、その場所の住所、緯度経度、UTM ポイント、標高が表示されます。



## 位置の指定と情報表示

## 2.8. 検索

画面上部の検索バーに、検索したい文字列を入力し、**Enter** キーを押します。  
住所や地名、経緯度、UTM ポイントで検索し、その位置を地図上で表示します。



検索手順は次の通りです。

- (1) 検索ワード入力ボックスに検索したい住所等を入力し、キーボードの「**Enter**」キーを押すか、**Q**をクリックします。
- (2) 緯度経度の場合、その地点へ地図が移動します。  
その他の文字列の場合は検索結果を表示するウィンドウが開きます。
- (3) 都道府県・市区町村で絞り込みたい場合はセレクトボックスからそれぞれ選択します。
- (4) 検索結果の上にマウスを乗せると、その地点のアイコンが変化します。
- (5) 検索結果をクリックすると、地図の中心がその地点へ移動します。

緯度経度の入力下記3種類に対応しています。

- ・ 緯度・経度を半角スペース区切り、度単位で入力 (35.0821 125.1930 等)
- ・ 緯度・経度を半角カンマ区切り、度単位で入力 (35.0821,125.1930 等)
- ・ 緯度・経度をスペース区切り、度分秒で入力  
(35 度 1 分 30 秒 135 度 24 分 12.011 秒 等)

### 3. 「情報」ボタン

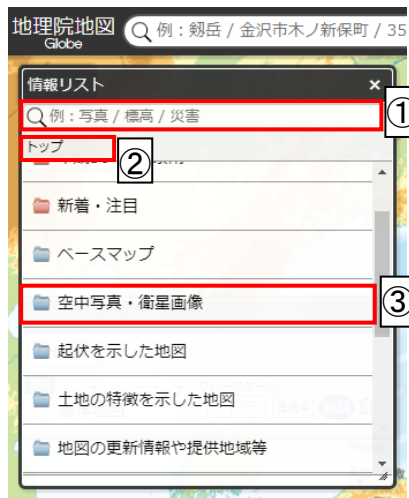


「情報リスト」から表示する情報（レイヤ）を選択し、地図上に表示します。

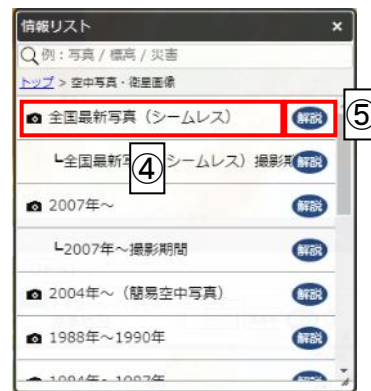
選択されたレイヤは、「選択中の情報」ウィンドウで表示／非表示、透過率の調整等ができます。

#### 3.1. 情報リスト

レイヤを選択して表示します。レイヤ名をクリックすると、地図上にレイヤが重ね合わせられます。フォルダをクリックすると1つ下の階層を表示できます。



フォルダをクリックすると1つ下の階層を表示



No.	名称	説明
①	絞り込み	入力したテキストにより、リストに表示する内容を絞り込みます。
②	階層	リンク付きの階層情報を表示します。
③	フォルダ	クリックすると当該フォルダに含まれるレイヤを表示します。
④	レイヤ名	クリックすると当該レイヤの地図上への表示／非表示が切り替わります。
⑤	解説ボタン	レイヤの詳細情報が表示されます。

## 3.2. 選択中の情報

現在選択されているレイヤの一覧を表示します。



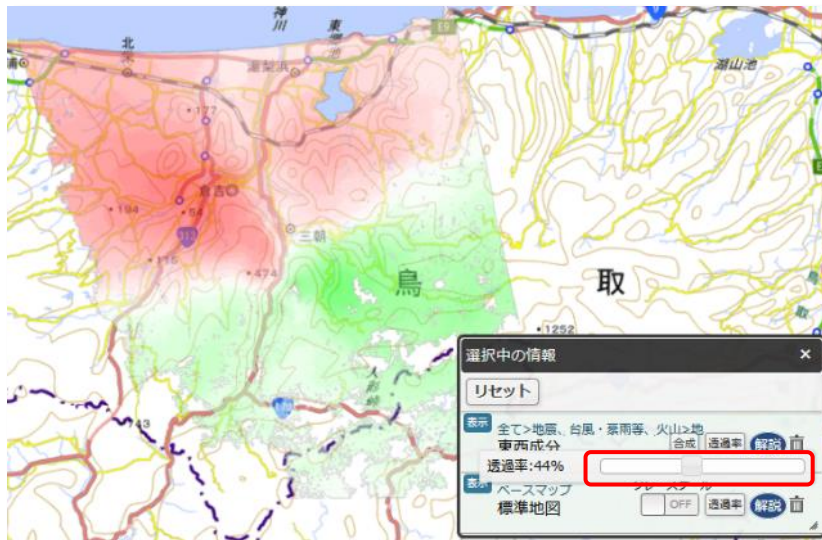
No.	名称	説明
①	リセットボタン	選択中のレイヤを全て削除し、標準地図のみにします。
②	階層・名称	上部の比較的小さな文字が階層を表し、大きな文字がレイヤ名を表します。
③	表示／非表示	レイヤ名をクリックすると、そのレイヤの表示／非表示を切り替えられます。
④	グレースケール	グレースケールの ON/OFF を切り替えます。 ※ 「ベースマップ」のみ。
⑤	透過率	クリック後に表示されるスライダーで、レイヤの透過率が設定できます。（※1）
⑥	合成ボタン	ひとつ下のレイヤと乗算合成を行います。（既定で有効）
⑦	解説ボタン	レイヤの詳細情報を表示します。（※2）
⑧	削除（ゴミ箱）	対象のレイヤを「選択中の情報」から削除します。
⑨	レイヤ順変更	対象のレイヤについて、▲をクリックすると1つ上に、▼をクリックすると1つ下に移動できます（画像タイルのみ）。

「ベースマップ」は常に「選択中の情報」の最下層に表示されます。



(※1) 透過率の設定について

「透過率」をクリックすると、透過率のスライダーが表示されます。  
スライダーの数値を調整することで、下のレイヤを透かして見ることができます。



(※2) 解説ボタンをクリックすると表示される詳細情報について





## 4. 「機能」ボタン

ファイルの読み込みや高さ倍率の変更、地理院地図への移動ができます。

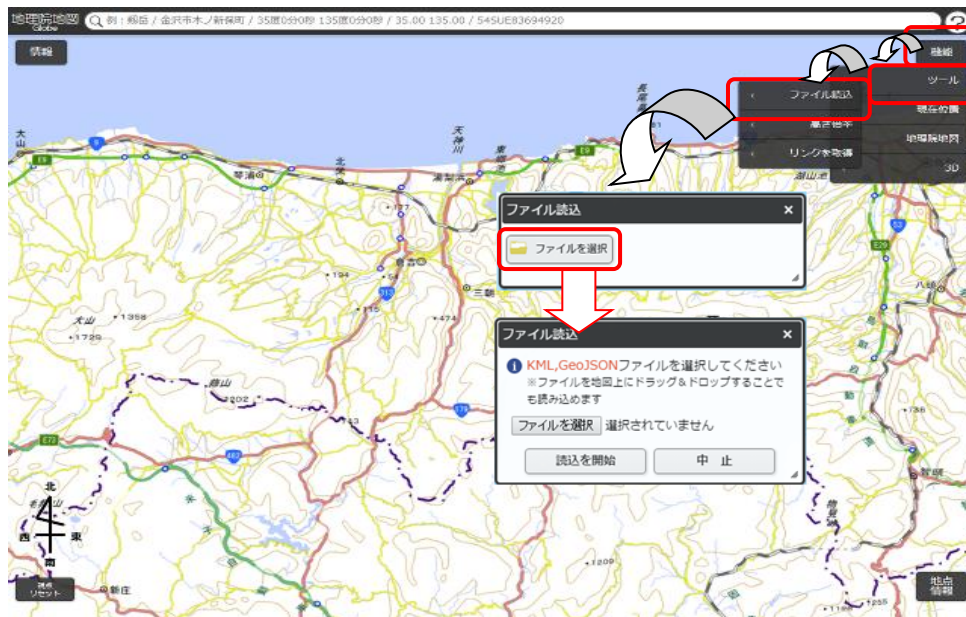


名称		説明	詳細
ツール	ファイル読込	KML または GeoJSON ファイルを読み込み、地図に重ねて表示します。 ※ ファイルを地図上にドラッグ&ドロップすることでも読み込みます。	<a href="#">4.1.</a>
	高さ倍率	高さ倍率を変更します。（※1）	<a href="#">4.2.</a>
	リンクを取得	現在表示されている地図の URL を取得します。 ※ ブラウザのアドレスバーの URL をコピーしても同様のリンクを取得することができます。	<a href="#">4.3.</a>
	外部タイル読込	URL を指定もしくはレイヤ定義ファイルを選択し外部タイルを読み込みます。	<a href="#">4.4.</a>
現在位置		ご利用中の端末で取得できる位置情報を使って現在位置を表示します。	<a href="#">4.5.</a>
地理院地図		地理院地図へ移動します。	<a href="#">4.6.</a>
3D	大 (2048x2048)	地理院地図 3D へ移動します。（表示範囲大）	<a href="#">4.7.</a>
	小 (1024x1024)	地理院地図 3D へ移動します。（表示範囲小）	
	カスタム	範囲を自由に決める事ができます。	

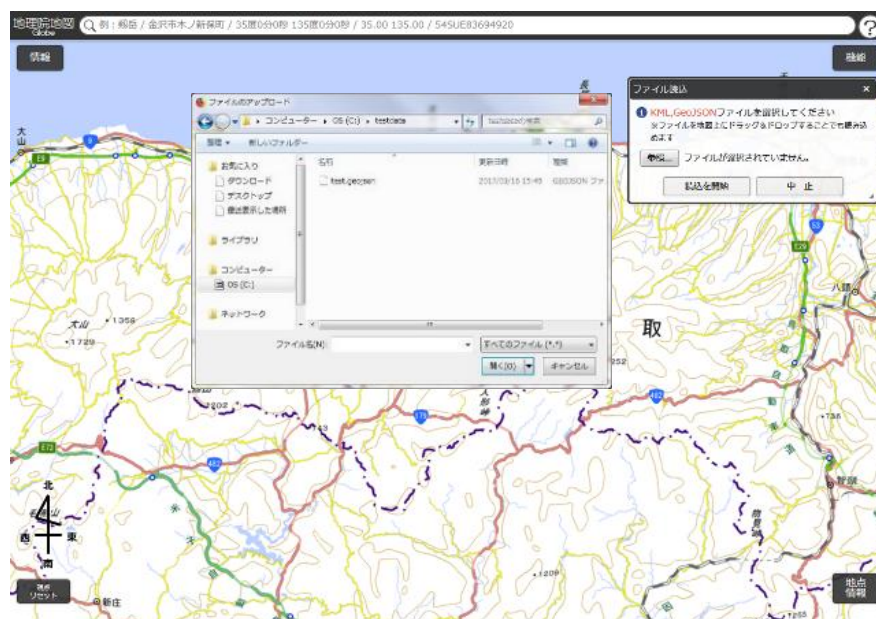
## 4.1. KML・GeoJSON ファイルの読み込み

1. 画面右上の「機能」から「ツール」→「ファイル読み込み」をクリックし、ファイル読み込みのウィンドウが表示されたら「ファイル選択」ボタンをクリックします。

※ファイルを地図上にドラッグ&ドロップすることでも読み込めます。



2. 読み込むファイルを選択します。  
読み込めるファイルは GeoJSON、KML の 2 種類です。

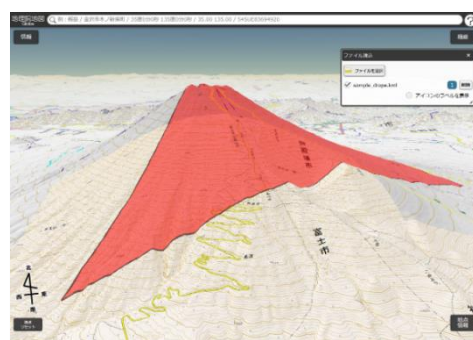


3. 読み込んだデータが表示されます。

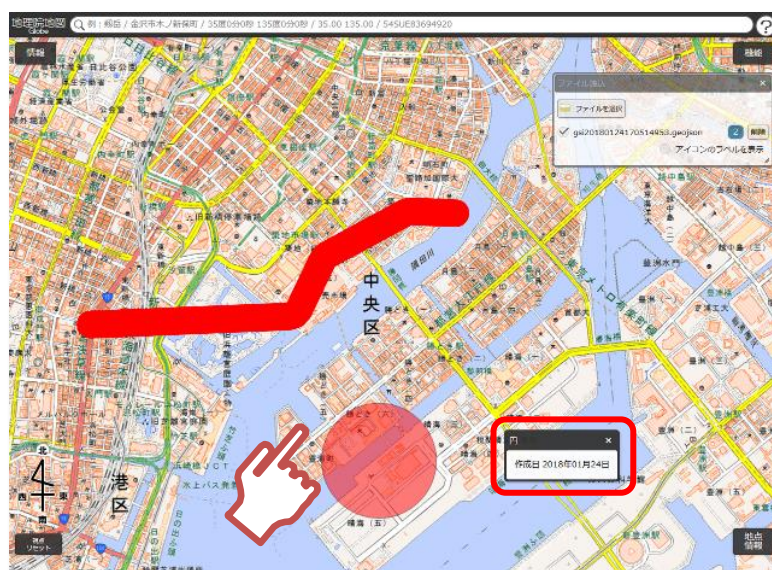


4. 以下のブラウザでは、高さの指定が無い地物は、地形にドレープして（貼り付いて）表示されます。

OS	対応ブラウザ（最新版）
Windows 7,8,10	Google Chrome, FireFox
Windows 10	Microsoft Edge
OS X	Safari



5. 図上の地物をクリックすると、地物の情報が画面上に表示されます。





## 4.2. 高さ倍率の変更

「高さ方向の倍率」のスライダーを変更することで、標高の倍率を変更することができます。

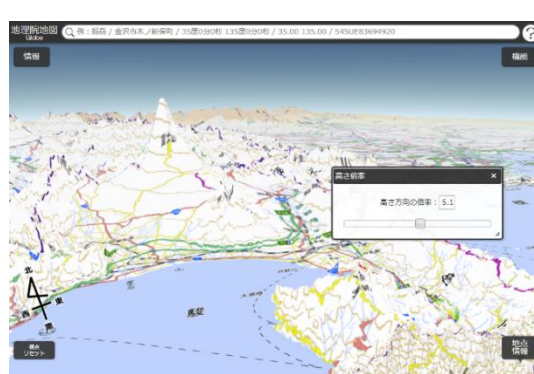
1. 画面右上の「機能」から「ツール」→「高さ倍率」をクリックします。



2. スライダーで倍率を変更します。ツマミをドラッグして倍率を変更します。



高さ倍率 1 の例

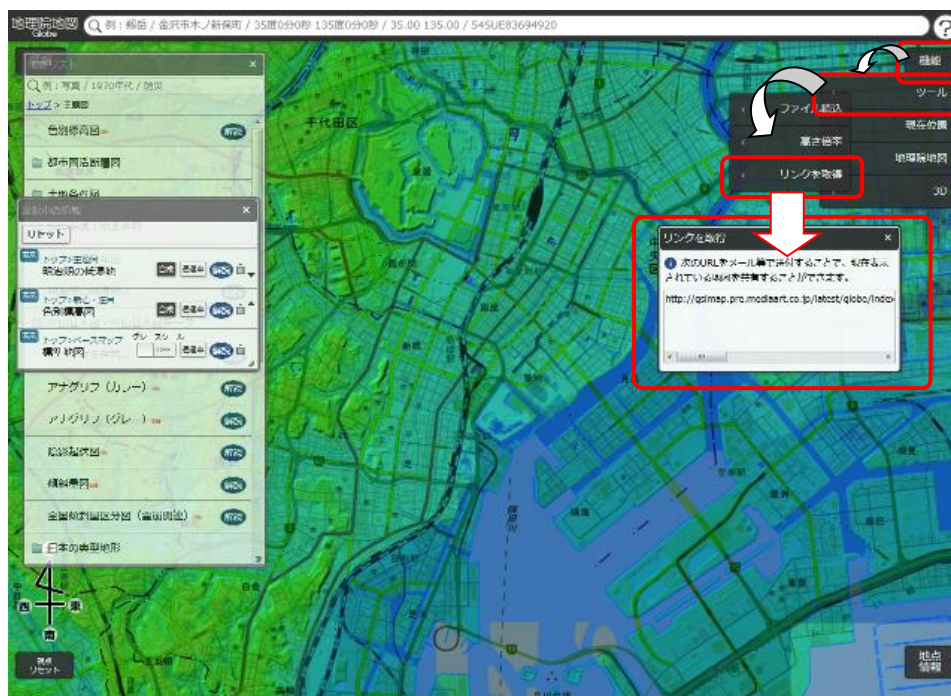


高さ倍率 5.1 の例

### 4.3. URL リンクの取得

地理院地図 Globe で現在表示されている地図の URL を取得し、メールや SNS などから地図を共有することができます。

※ ブラウザのアドレスバーの URL をコピーしても同様のリンクを取得することができます。





#### 4.4. 外部タイルの読み込み

URL を指定もしくはレイヤ定義ファイルを選択し外部タイルを読み込みます。

読み込めるタイルは地理院タイル仕様

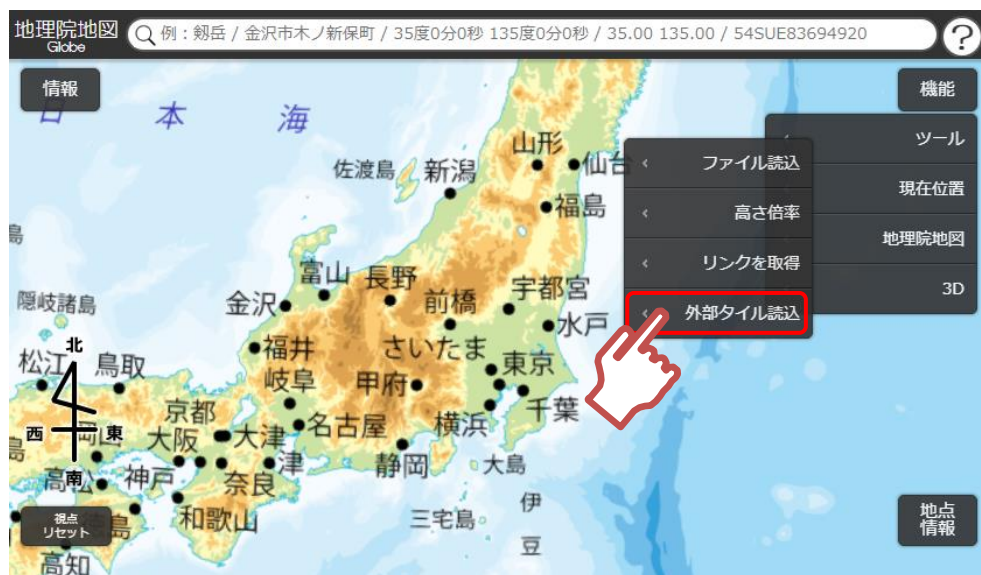
(<https://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>)と同様のXYZ方式のタイルです。

なお、外部タイルを読みこむ際は、当該タイルデータの利用規約に基づき適切にご利用ください。

1. 右上の「機能」から「ツール」をクリックします。



2. 「外部タイル読込」をクリックします。



3. URLを指定もしくはレイヤ定義ファイルを選択し外部タイルを読み込みます。

外部タイル読み込み

☒ URLを指定

レイヤー名:  
表示名称

URL:  
例:https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/std/{z}/{x}/{y}.png

オプション▼

☐ 南西原点  
minZoom: ▼ maxZoom: ▼  
maxNativeZoom: ▼

☐ 保存した設定ファイルを選択  
ファイルを選択 選択されていません

※国土地理院以外の機関が配信しているデータをご利用の際は、当該データの利用規約に従いご利用ください。

上記の内容で読み開始

(必須) 任意のレイヤ名を指定します。

(必須) タイルの URL を入力します。

(任意) 「オプション」をクリックし、南西原点（デフォルトは北西原点）、minZoom、maxZoom、maxNativeZoom を指定します。

選択中の情報

リセット 外部タイル保存

表示 外部タイル 外部レイヤー 合成 透過率 編集 削除

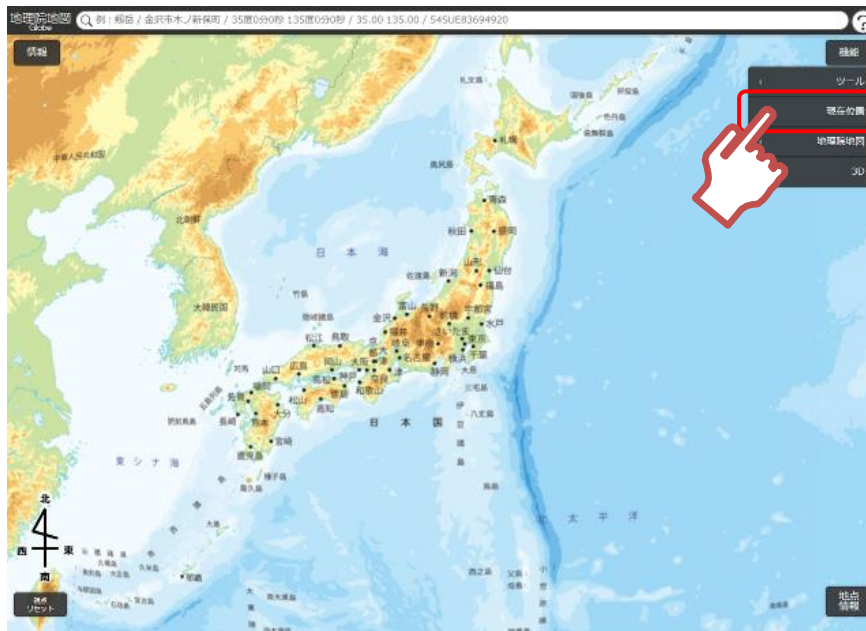
表示 トップ>ベースマップ グレースケール 標準地図 OFF 透過率 解説 削除

外部タイルの情報をレイヤ定義ファイル形式で保存します。

※ここで保存したファイルを読み込みます。

## 4.5. 現在位置を表示

1. 右上の「機能」から「現在位置」をクリックすると、スマートフォン等の GPS 機能で取得した現在位置へ、地図の表示を移動します。



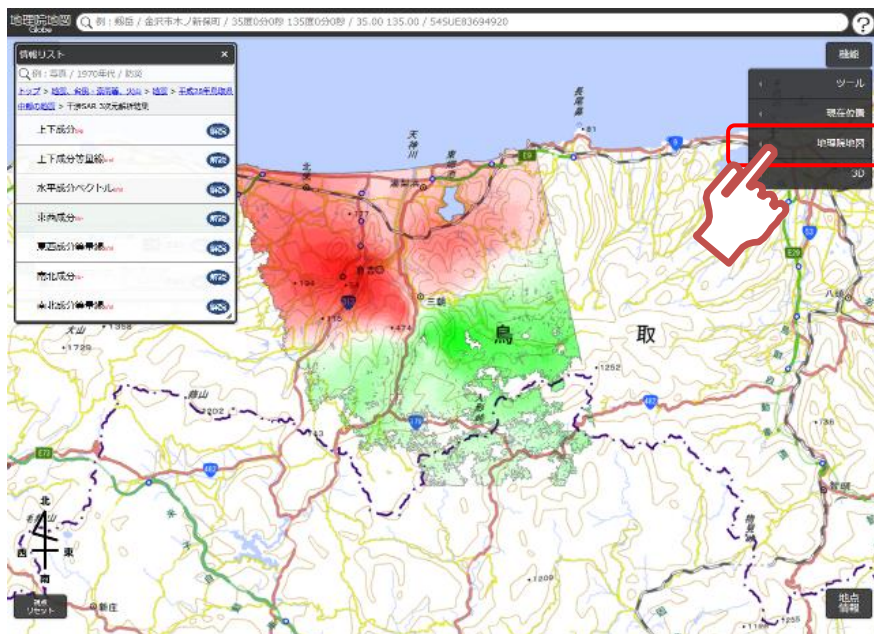
ご利用中の端末で位置情報の取得に失敗した際には、下記のメッセージが表示される場合があります。

- (1) 原因不明のエラーにより、位置情報を取得できませんでした。
- (2) 位置情報の取得が許可されませんでした。
- (3) 電波状況が悪い為、位置情報を取得できませんでした。
- (4) 位置情報の取得処理がタイムアウトしました。
- (5) ご利用中の端末では、現在位置を取得できません。

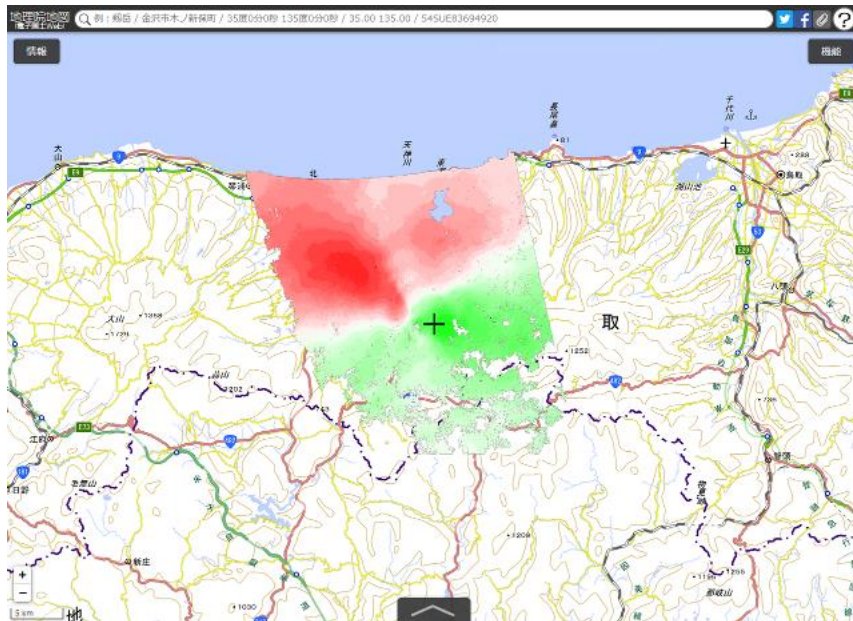


## 4.6. 地理院地図に移動

1. 右上の「機能」から「地理院地図」をクリックします。

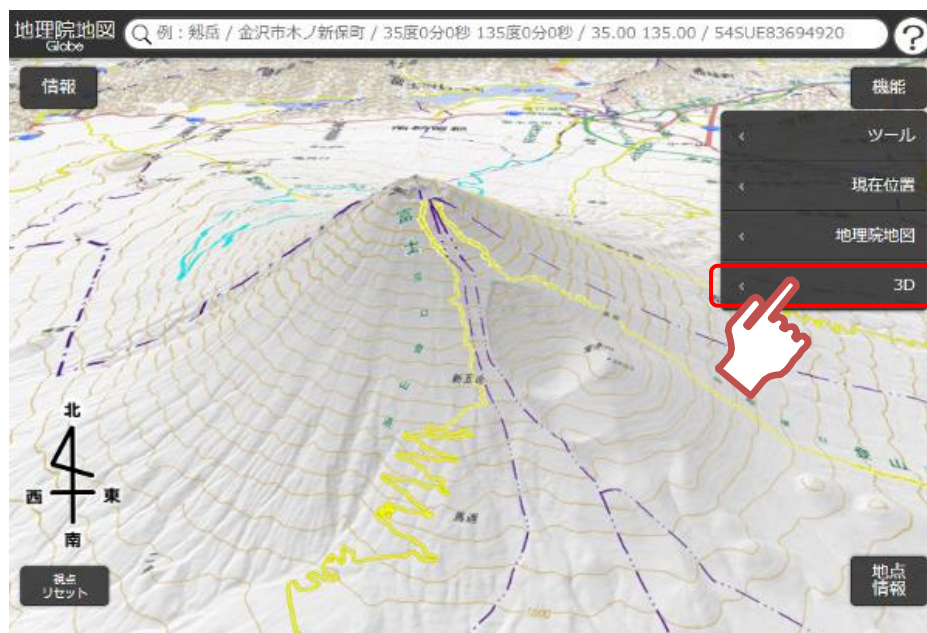


2. 同じ場所が表示された地理院地図が別タブで開きます。  
選択していたレイヤもそのまま引き継がれます。

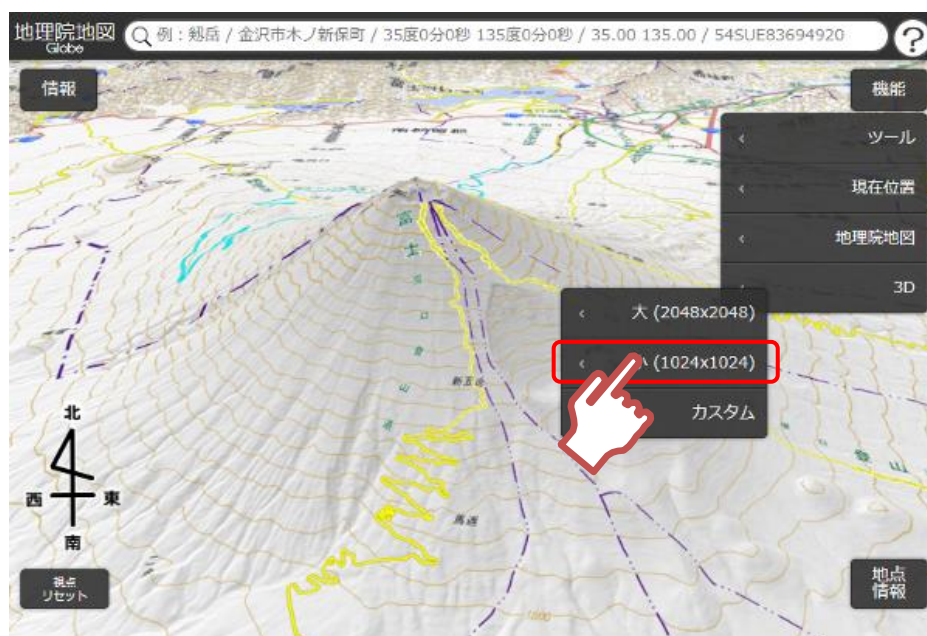


## 4.7. 地理院地図 3D に移動

1. 右上の「機能」から「3D」をクリックします。

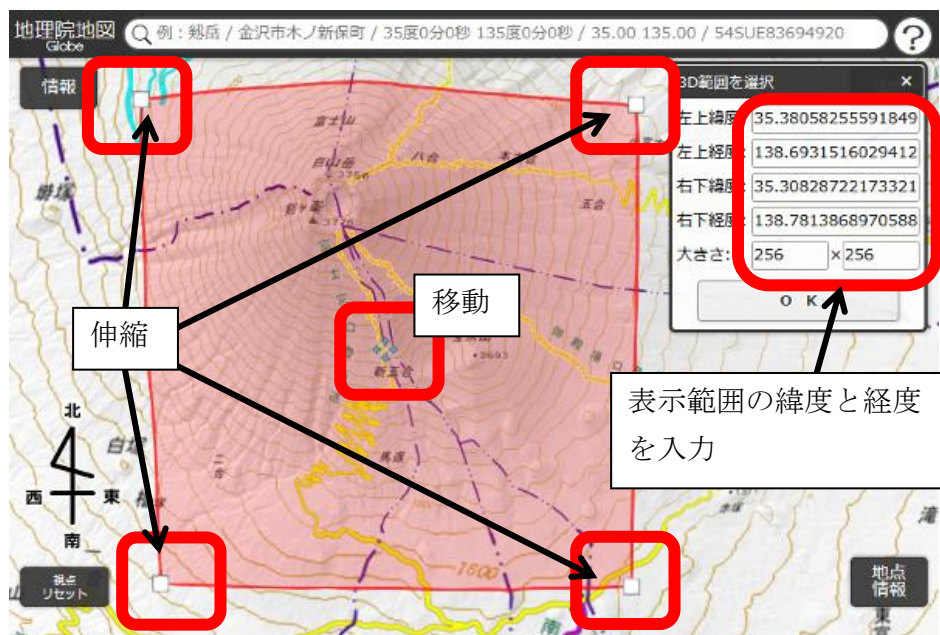


2. 大・小、あるいはカスタムから表示サイズを選択します。

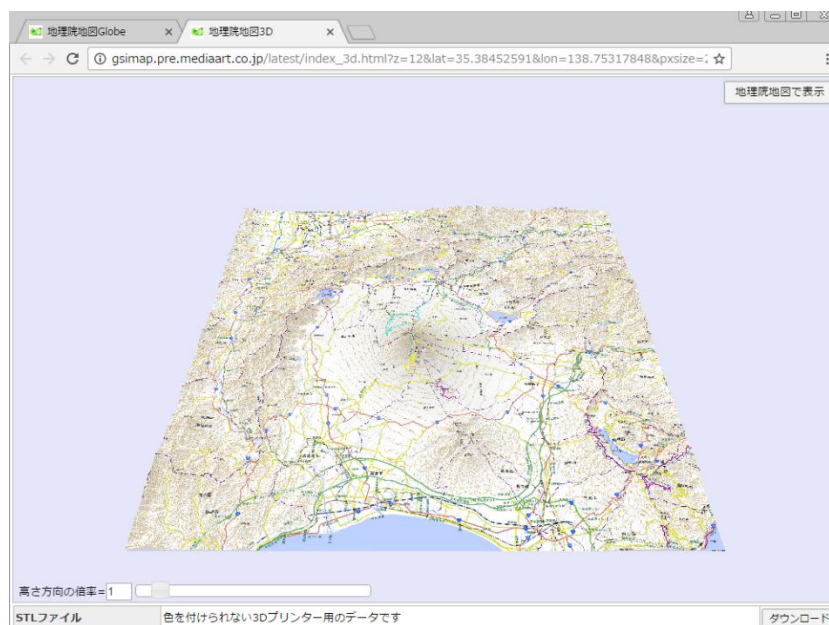




3. カスタムを選択した場合は、3Dでの表示範囲を入力して表示範囲を決めます。  
また表示範囲は、地図上に表示されている範囲の中心にある矢印をドラッグして動かす事ができ、角のハンドルをドラッグして伸縮する事も出来ます。  
表示範囲が決まったら「OK」ボタンを押します。



4. 同じ場所が表示された地理院地図 3D が別タブで開きます。



STL、VRML、WebGL 用ファイルをそれぞれダウンロードすることができます。

## 5. その他

### 5.1. 自分で作る色別標高図

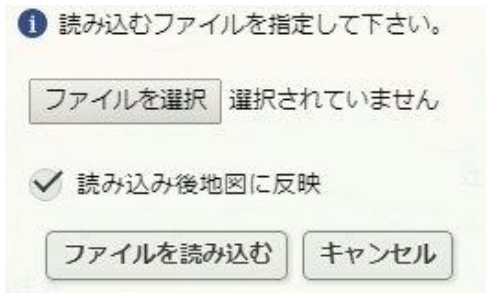
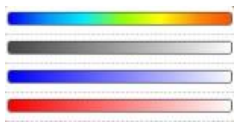
情報リストから「自分で作る色別標高図」を表示します。「スタイルを変更」ボタンをクリックしてスタイルを編集できます。

(再度編集する場合は「解説」から「スタイル変更」ボタンをクリックします)



スタイルの編集



No.	名称	説明
①	ファイル読込	<p>②で保存したファイルを読み込みます。</p> 
②	ファイル保存	現在のスタイルをファイルに保存します。
③	自動作成	表示範囲の最低標高と最高標高から自動で色分けします。
④	初期状態に戻す	現在のスタイルを破棄し、読込時の初期状態に戻します。
⑤	標高しきい値入力	しきい値となる値を入力します。
⑥	色の選択	色を選択します。
⑦	行の削除	行を削除します。
⑧	行の挿入	行を挿入します。
⑨	グラデーション	グラデーションを付けます。
⑩	陰影	<p>陰影起伏図を利用し陰影を付けます。</p> <p>※日本周辺のみ対応</p>
⑪	地図に反映	現在のスタイルを地図に反映します。
⑫	降順に並べる	降順に並べ替えます。
⑬	カラーパターン	 <p>カラーパターンから選択します。</p>